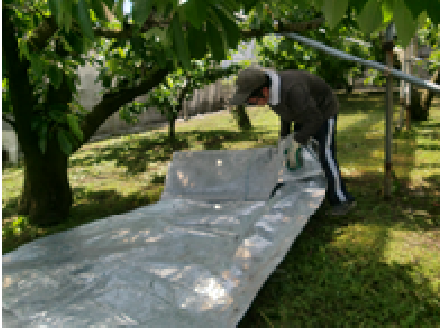







| | | | |
|--------|--|--|---|
| 作業名 | さくらんぼの木の下にシートを敷く作業 | | No. 20 |
| | 手 順 | | 支援者の業務・ 注意すべき点 |
| ① |  | シートを運び、さくらんぼの木の下に敷く。二人一組で行うとスムーズできれいに敷くことができる。 | 桃の木に頭をぶつけないように気をつける。シートが降り曲がらないようにしっかりと伸ばす。 |
| ② |  | シートを敷き終わった後に杭で隅を止める。(飛ばないようにするため) | 杭の場所を確認する。 |
| ③ |  | 作業が終了した木(太陽の光を考えながらシートを敷く) | |
| 作業時期 | 5月中旬 | 難易度 | ☆☆ 想定工賃 8,000円/日 |
| 作業面積 | 250m ² | 障害区分 | 区分5(1名) 同行支援員数 1人 |
| 使用器具等 | シート 杭 | | |
| 適用 | | | |
| 実施事業所名 | みらいコンパニー | 作成日平成29年5月19日 | |
| 作成者 | 八巻 | | |

| 作業名 | サクランボ収穫作業 | | No. 21 |
|--------|---|-----------------------------------|--------------------------|
| 手 順 | | | 支援者の業務・ 注意すべき点 |
| ① |  | サクランボの収穫作業のために木の周りに脚立を立てる。 | 高所での作業は高い脚立を使用するので職員が行う。 |
| ② |  | 赤い色付いた実を収穫してゆくが、時期が遅かったのか全て熟していた。 | 低所は利用者が担当して収穫 |
| ③ |  | 実に付いた枝を取らないようにそっと取る | |
| ④ |  | 反対側に向けて折ると簡単に取れる。 | 優しく扱い、枝を傷つけないように注意する |
| 作業時期 | 6月下旬 | 難易度 | ★★☆☆☆ 2 想定工賃 10000円/日 |
| 使用器具等 | 持参器具 長靴、長袖シャツ、帽子、軍手 タオル必須。 | | |
| 適用 | 高所作業があるので落下事故の無いように注意すれば難しい仕事ではないが、数が多いので時間がかかる 対象面積；10a | | |
| 実施事業所名 | ジョブスペースかけはし | 作成者 | 久保川 作成日 平成29年6月9日 |





| 作業名 | | さくらんぼの木の下のシート撤去 | | No. 2 2 | |
|--------|---|--|--|---|--|
| 手 順 | | | | 支援者の業務・注意すべき点 | |
| ① |  | 2人1組で行う。一人がシートの杭を抜き、抜いた杭をもう一人に渡す。抜いた杭はバケツに入れておく。 | | 木に頭をぶつけないように気をつける。杭の取り残しがないように確認する。支援者は、安全確認や杭が残っていないかチェックをする。 | |
| ② |  | 2人1組で行う。シートを伸ばし、葉や土などを箒で取り除く。 | | シートの両端を持ち、シートを持ち上げ、葉や土を落とした方が、箒で取り除く際に少ない量になる。支援者は、取り残しがないようにチェックをする。 | |
| ③ |  | 2人1組で行う。両端を整えながら、きれいにたたむ。 | | 1人で行うと大変なので、2人で両端を持ちながらたたむ。支援者は、たたみ方などをチェックする。 | |
| |  | 2人1組で行う。たたみ終えたシートを所定の場所に運ぶ。 | | 運ぶ際、木の下を通る時に頭をぶつけないように気をつける。支援者は、所定の場所に置いているか確認する。また、安全確認も行う。 | |
| 作業時期 | | 6月中旬 | | 難易度 ☆☆ | |
| 作業面積 | | 250m ² | | 想定工賃 8,000円/日 | |
| 使用器具等 | | シート 杭 箒 バケツ | | 同行支援員数 1人 | |
| 適用 | | | | | |
| 実施事業所名 | | みらいコンパニー | | 作成日 平成29年 6月21日 | |
| 作成者 | | 八巻 | | | |

| 作業名 | アスパラガス畑のマルチの中とフチの草取り | | No. 2 3 |
|--|---|---|--|
| 手 順 | | | 支援者の業務・注意すべき点 |
| ① |  | マルチングの穴の中と、マルチのフチに生い茂った雑草は機械で刈ることが出来ないで、手で根っこからとり、根絶する。 | 1年目のアスパラは細くひ弱なので、雑草といっしょに抜かないよう気を付ける |
| ② |  | 雑草は地中に根を張っているの、いっぺんに抜かず、アスパラに注意しながら、茎ひとつずつ分けて根を探る。 | アスパラの根元を押さえたり、雑草とアスパラをより分けながら作業する |
| ③ |  | 雑草の根が露出するまで鎌をぐりぐり土深くまで押し込む。そしてアスパラを押さえたりしながら、慎重に抜く | アスパラの根を鎌で傷つけないように注意する |
| ④ |  | 雑草が抜けると、土が減り、アスパラが浮いてしまったりするので、土を補充し、手で固める。 | 雑草の根とアスパラの根がからまっていっしょに抜ける場合もある。その場合は、土を落として、慎重にアスパラだけをより分けてもどす |
| ⑤ |  | アスパラをしっかりと立てる | アスパラの白い根元が見えているところは、土を寄せて見えないようにする |
| 作業時期 | 5月中旬 | 難易度 | ★★★★☆ 想定工賃 400円/時 |
| 使用器具等 | 草刈り鎌は先方で用意して下さる。暑さ、日焼け対策の帽子、長袖、小雨対策のカップ、手を汚さないための手袋、こまめな水分補給。 | | |
| 適用 | 対象面積 ; 30a | | |
| 実施事業所名 サービスセンター八峰 すずらん工房 作成日 2017年6月26日 作成者 田中 | | | |

| 作業名 | | ニンニクの根切り | | No.24 | |
|--------|---|--|--|--------------|--|
| 手 順 | | | 支援者の業務・注意すべき点 | | |
| ① |  | 畑から収穫したニンニクはその日のうちに乾燥させなければいけないので、時間との勝負。根を専用ハサミで切って、根の部分をむき出しにする。 | 根に泥がついていたら、ハサミが傷むので、落としておく。 | | |
| ② |  | 思い切って、ニンニク本体にハサミの反った部分を斜めの角度から押し付け、握力をかけて一気に長い根を切り落とす。 | ハサミの反った部分をニンニク本体に押し当てたらスライドさせながら切ると一度で切り口がきれいに切れる。 | | |
| ③ |  | 根の部分が白くむき出しになるように切る。こうなることで、ニンニクが乾燥する。 | 一度で切れずに短い根が残ると切りにくいが、何度かハサミを入れて白くむき出しになるまで切るしかない。 | | |
| 失敗例 |  | 一度で根をバツサリ切ることが出来ないと、何度かハサミを使って切ることになる。根が短いとより握力が必要で切りにくい。 | 根を残さないように、白い部分がむき出しになるまで切る。 | | |
| 作業時期 | | 6月中旬 | | 難易度 ★★★★★☆ 4 | |
| | | | | 想定工賃 300円/時 | |
| 使用器具等 | ハサミの部分が反ったニンニク根切り用専用ハサミを先方が用意してくれた。手のひら側がザラザラしたゴム製の手袋を持参。ハサミを使うときに親指付け根と人差し指に負荷がかかり、マメができるので、カットバンを用意し、保護のために指に巻いた。 | | | | |
| 適用 | ある程度の握力と器用さが必要。 対象面積 ; 40a | | | | |
| 実施事業所名 | サービスセンター八峰 | | すずらん工房 | 作成日 6月26日 | |
| 作成者 | 田中 | | | | |

| | | | |
|--------|---|---|---|
| 作業名 | にんにくの粒仕分け作業 | | No.25 |
| 手 順 | | | 支援者の業務・ 注意すべき点 |
| ① |  | ある程度乾燥したにんにくの 茎をはさみで切り、にんにく を玉にする | 切りやすいように 茎をばらす。はさ みで手を切らない ように注意する |
| ② |  | 玉になったにんにくの表皮を 手で丁寧に剥く | 表皮がうすいので 丁寧に扱う |
| ③ |  | にんにくを 1 粒ずつにわけ る。 皮を爪で傷つけないように注 意する。 | 水分の多いにんに くは取り辛いので、皮を破かない ように気を付ける |
| ④ |  | 分けたにんにくの粒を重ねら ないように箱に並べる | 実が入っている粒 と入っていない粒を 分ける |
| 作業時期 | 8月下旬 | 難易度 | ★☆☆☆☆ 1 想定工賃 3,000 円/日 |
| 作業面積 | | 障害区分 | 精神・知的 同行支援員数 2人 |
| 使用器具等 | 軍手、剪定はさみ | | |
| 適用 | にんにくの薄皮を剥かないように注意する 根気と手数が必要な作業 | | |
| 実施事業所名 | 就労支援センターいちごいちえ | 作成日 | 平成 30 年 3 月 30 日 |
| 作成者 | 山岸 | | |



| 作業名 | ニンニクの皮むきと選別 | | No.26 |
|---------------|---|---|--|
| 手 順 | | | 支援者の業務・注意すべき点 |
| ① |  | 畑から収穫した土のついた皮をむいてきれいにする。 | 外側の土のついた皮を一枚はぐ。 |
| ② |  | 皮を破ってしまい、中の小房が見えるとダメ。薄皮一枚残してむく。 | この一枚をむいてしまうと中の房が見えてしまいそうだと思います。やめておく。 |
| ③ |  | きれいな皮を残して、店で売っている状態にする。 | 爪を立てないように皮を破かないように気を付ける。 |
| ④ |  | 量りで 46g 以上 (大)、39g 以下 (小)、40g~43g (中) に分ける。 | 初めは先方の言う大体の大ききで分けていたが、ばらつきが出てきたので、g 数で分けることでわかりやすくなった。 |
| 作業時期 10月中旬 | | 難易度 ★★★★★☆ 4 | 想定工賃 300円/時 |
| 使用器具等 | 量り。薄いゴムの手袋。 | | |
| 適用 | 手先の細かい作業。 対象面積 ; 70a | | |
| 実施事業所名 作成者 | サービスセンター八峰 すずらん工房 田中 | | 作成日 10月30日 |

| 作業名 | トウモロコシの補植 | | No. 27 |
|---------------|---|-----------------------------|--------------------------|
| 手 順 | | | 支援者の業務・ 注意すべき点 |
| ① |  | 育っている芽の中で、育ちの悪い芽を見つけ、抜く。 | 抜かなくても良い芽を抜いてしまわないよう声掛け。 |
| ② |  | 芽を抜いたところを 5cm 程掘る。 | 掘る穴が大きくならないよう気を付ける。 |
| ③ |  | 掘ったところに補植用の苗を植える。 | 苗が上にまっすぐになるように植える。 |
| ④ |  | 苗を植えたら周りの土を押さえ、苗が抜けないようにする。 | 植えたところの周りの土を押さえるようにする。 |
| 作業時期 | 6月中旬 | 難易度★★★★☆☆ | 想定工賃 1000円/日 |
| 作業面積 | 50㎡ | 障害区分 区分2 | 同行支援員数 2人 |
| 使用器具等 | 長靴 帽子 タオル 軍手 スコップ ゴミ袋 | | |
| 適用 | 熱中症、日焼けに注意。芽の選別の際に良いものを取らない様に注意。 | | |
| 実施事業所名 作成者 | 福祉の実たけのこ 羽田 | | 作成日 平成29年6月20日 |




| 作業名 | 玉ねぎの選別 | | No. 28 |
|-----|---|----------------------------------|---------------------------|
| 手 順 | | | 支援者の業務・注意すべき点 |
| ① |  | 玉ねぎを利き手でない方で持つ。 | |
| ② |  | 根のひげを専用のハサミで切り落とす。 | 根を残さない。 |
| ③ |  | 反対側にして、上の部分の茎を切り落とす。 | ハサミの切れが悪いと、何度かハサミを入れる。 |
| ④ |  | ハサミ部分が反り返った専用のハサミを使う。 | |
| ⑤ |  | 上下を切った状態。 | |
| ⑥ |  | 軍手をはめた両手で包むように持ち、こすって外側の汚れた皮をはぐ。 | 玉ねぎをくるくる回しながら、きれいにしていく。 |
| ⑦ |  | 大中小の大きさに分別して、カゴに入れる。 | 大中小の大きさに穴の開いた厚紙を用意してもらった。 |

| | | | | | |
|--------|--|-----|---------|-----------|--------|
| 作業時期 | 7月上旬 | 難易度 | ★★★★☆ 4 | 想定工賃 | 400円/時 |
| 使用器具等 | ハサミの部分が反った専用ハサミと軍手を先方が用意してくれた。その日に収穫した玉ねぎにより大きさが違い、大中小に分ける際にばらつきが見られたので、先方が大きさによって穴の開いた厚紙を3枚用意してくれて、そこを通して分けた。 | | | | |
| 適用 | 大きさの分別以外はスムーズにできた。 対象面積；40a | | | | |
| 実施事業所名 | サービスセンター八峰 | | すずらん工房 | 作成日 8月31日 | |
| 作成者 | 田中 | | | | |

| 作業名 | | 玉ねぎ植え付け | | No. 2 9 | |
|--------|---|---------|---|---|-------------------|
| 手 順 | | | | 支援者の業務・ 注意すべき点 | |
| ① |  | | <p>植え付けの2週間ほど前に石灰を 150g/m²を全面に散布、植え付けの1週間前に化成肥料を撒き耕す。</p> <p>マルチをひき 10 cm 間隔に穴を空ける。</p> <p>棒に 3 cm の目印をつけて穴を作る</p> | マルチをひく際にマルチを傷付けない様に注意。またマルチに穴を空ける間隔に注意。 | |
| ② |  | | <p>草丈 20 cm ~ 25 cm 程度で、根本が 7 ~ 8 mm の苗を、①で作った穴に植える（深さ 3 cm）。</p> | 良い苗を植える様に声掛け。またきちんと穴に苗を植える。 | |
| ② |  | | <p>根元にしっかりと土をかけ、その上から水をたっぷりと加える。</p> <p>※追肥は2月上旬と3月下旬ごろに化成肥料を施す。</p> | | |
| 作業時期 | 11月中旬 | 難易度 | ★★★★☆☆ | 想定工賃 | 1500 円 / 日 |
| 作業面積 | 50 m ² | 障害区分 | 区分 2 | 同行支援員数 | 2 人 |
| 使用器具等 | 長靴 帽子 タオル マルチ 軍手 スコップ 目印の付いた棒 ジョウロ | | | | |
| 適用 | 良い苗を植える | | | | |
| 実施事業所名 | 福祉の実たけのこ | | | 作成日 | 平成 29 年 11 月 28 日 |
| 作成者 | 渡辺 | | | | |

| 作業名 | 玉ねぎの糶まき | | No.30 |
|---------------|---|---|---|
| 手 順 | | | 支援者の業務・ 注意すべき点 |
| ① |  | <p>玉ねぎの苗が冬の霜で浮き上がらない様にもみ殻を撒く。</p> | <p>苗の根の部分が 出ない様にもみ殻を均等に撒く。マルチを踏んで傷つけない様に注意。</p> |
| ② |   | <p>畑の全面に均等にもみ殻を撒く。</p> | <p>同上</p> |
| ③ |  | <p>もみ殻を撒いた畑に寒冷紗をかけるためのトンネル用の支柱をかけ、その上に寒冷紗をかけ完成。</p> | <p>風で寒冷紗が飛ばない様に、重りに乗せる。寒冷紗をシワのない様に丁寧に張る。</p> |
| 作業時期 | 12月中旬 | 難易度★☆☆☆☆ | 想定工賃 1500円/日 |
| 作業面積 | 50㎡ | 障害区分 区分2 | 同行支援員数 2人 |
| 使用器具等 | <p>長靴 帽子 タオル マルチ 軍手 糶殻 ちりとり(糶殻を撒く際に使用) トンネル支柱 寒冷紗</p> | | |
| 適用 | <p>玉ねぎの苗の越冬対策</p> | | |
| 実施事業所名 作成者 | <p>福祉の実たけのこ 渡辺</p> | | <p>作成日 平成30年4月6日</p> |




| 作業名 | | 玉ねぎ苗植え直し | | No.3 1 | |
|--------|---|----------------------------|--|---|--|
| 手 順 | | | | 支援者の業務・ 注意すべき点 | |
| ① |  | | 霜で浮き上がったマルチを直す。 | マルチを踏んで傷つけない様、またマルチを直す際に破かない様に注意。 | |
| ② |  | | 霜で枯れてしまった苗を選別し、元気の良い玉ねぎの苗のみを5cmの目盛りをつけた棒を刺し、深さ5cmに植えなおす。 | 同上 | |
| ③ |  | | 植えなおしたタマネギの苗を踏む（※霜に対して対応できる効果） | 踏む場所は苗の両脇の点に気を付ける。 マルチを破かない様に注意。 | |
| 作業時期 | | 3月中旬 | | 難易度★☆☆☆☆ | |
| 作業面積 | | 50㎡ | | 想定工賃 1500円/日 | |
| 使用器具等 | | 長靴 タオル マルチ 軍手 5cmの目盛りを付けた棒 | | | |
| 適用 | | 玉ねぎ苗の植え直し | | | |
| 同行支援員数 | | 2人 | | 障害区分 区分2 | |
| 実施事業所名 | | 福祉の実たけのこ | | 作成日 平成30年4月6日 | |
| 作成者 | | 渡辺 | | | |





| 作業名 | きゅうりの選別 | | No. 3 2 |
|--------|---|---|---|
| 手 順 | | | 支援者の業務・注意すべき点 |
| ① |  | <p>きゅうりをABC、3つのランクに分別。Aは、曲がり少なく、傷少なく、パイプの白いシールの部分よりも長く、太さはパイプと同じくらいのもの。漬物として一本漬にできるもの。一箱12.5キロ以上になったら蓋をしてガムテープでとめる。</p> | <p>長すぎるもの、太すぎるものをまずはじく。傷がなく、まっすぐな形のをAとする。傷が目立ったり、白くザラザラした筋は虫が這った跡なのでCに。きゅうりの上下3センチまでの傷なら漬物にするさいに切り落とすのでA。</p> |
| ② |  | <p>左がA、真ん中2本がB（長さが足りないか、少し曲がっている）、カーブが大きかったり、パイプよりも太いものはCに分別。それぞれの段ボールに入れる。</p> | <p>主にメンバーさんが選別するが、判断に迷って聞かれたら指導員がA、B、Cを判断する。</p> |
| ③ |  | <p>太さが微妙で判断に迷ったら、左手にパイプを握り、親指が重なるくらいの太さならA、写真のように重ならなかったら成長しすぎとしてCとなる。</p> | <p>慣れたら見ただけで判断できるが、中には迷うものがある。</p> |
| 作業時期 | 7月中旬 | 難易度 | ★★★★★ 5 想定工賃 400円/時 |
| 使用器具等 | 先方が用意したパイプの長さとおさが基準になる。 | | |
| 適用 | 微妙な違いがメンバーさんにはむずかしかった。 対象面積；50a | | |
| 実施事業所名 | サービスセンター八峰 すずらん工房 | | 作成日 8月31日 |
| 作成者 | 田中 | | |

| 作業名 | 大豆収穫刈取り作業 | | No. 3 3 |
|--------|--|------------------------------------|---------------------------------------|
| 手 順 | | | 支援者の業務・ 注意すべき点 |
| ① |  | 大豆の刈取りをしやすい様大豆周囲の雑草を刈る。 | 誤って大豆を刈ってしまうないように作業する。 |
| ② |  | 大豆の株をしっかりと持ち、のこ切鎌で一気に刈る。 | 株をゆらしすぎると大豆が鞘から飛び出してしまうので一気に刈れるようにする。 |
| ③ |  | 刈り取った株を8株ほど束ね、逆さまにしてピラミッド状に圃場に伏せる。 | 株の数にはこだわらず株をピラミッド状に伏せられて良しとする。 |
| 作業時期 | 初冬 | 難易度 普通 | 想定工賃 円/日 |
| 使用器具等 | のこ切り鎌 | | |
| 適用 | | | |
| 実施事業所名 | みとおし | | 作成日 2017 年 11 月 29 日 |
| 作成者 | 加藤 | | |

| | | | |
|-------|---|---|---|
| 作業名 | イチゴのランナー処理 | | NO, 34 |
| 手 順 | | | 支援者の業務・注目すべき点 |
| ① |  | イチゴのランナーを取る。指定された畝を確認する。 | 畝を壊さないようにポジションについてもらう。又、授粉用のミツバチに気を付ける。 |
| ② |  | 中腰になり、根元を1本ずつ確認する。 | 中腰にて、しっかりと根元が見える位置で確認をしてもらう。畝に寄りかからないようにする。 |
| ③ |  | 根元の方から引き抜く。引き抜いたものはまとめて置いて、最後に外の捨て場に捨てる。 | しっかりと根元の方より抜いてもらい、カゴ等に入れまとめておく。 |
| ④ |  | ランナーの根元にオレンジのピンが刺さっている物は植えたばかりで根元が弱いので抜かない。 | ピンが刺さっているかは根元を見ないと解らないので、必ず確認してもらう。 |
| ⑤ |  | ランナーの先に葉が付いている物は抜かない。 | 葉が付いている物は取らなくて良いので、根元を見る必要もない。 |
| 作業時期 | 11月中旬 | 難易度 | ★★☆☆☆ 2 想定工賃 800円 |
| 使用器具等 | 長靴・長袖・長ズボン・タオル・帽子 | | |
| 適用 | 中腰での作業が安定している方や体力が必要となる。 対象面積：10a | | |
| 事業所名 | 山梨クリナース | 作成日 | 平成29年11月22日 |
| 作成者 | 秋山 | | |

| 作業名 | | 大根の掘り出し・袋詰め | | No. 3 5 | | |
|--------|---|--|--|------------|------|--------|
| 手 順 | | | 支援者の業務・注意すべき点 | | | |
| ① |  | ユンボで土を掘り起こした畝の大根を引き抜く。葉っぱの部分を持ち、まとめて置いておく。 | 葉の部分を持つと一気に4~6本は抜ける。 | | | |
| ② |  | 大根の葉を包丁で落とす。葉よりも下の白い部分を落とす。 | 葉よりも下の白い部分を切る。 | | | |
| ③ |  | 土はあまり取り除かなくていいが、白い部分から出ているひげは取り除く。 | 大根は漬物に漬けるので、ひげは漬けると取りにくくなるから、あらかじめ取り除いておく。 | | | |
| ④ |  | 網の袋に10本~12本入れる。 | けっこう大根が太いので、13本以上入れると、トラックの荷台に乗せる際に重くて持ち上がらない。 | | | |
| ⑤ |  | 2 トントラックの荷台に積む。網で引っかかるので、ずれ落ちることはない。 | 山盛りに積む。荷台に上げるのが重い! | | | |
| 作業時期 | | 12月上旬 | 難易度 | ★★★★☆ 4 | 想定工賃 | 500円/時 |
| 使用器具等 | | ユンボ（工房の職員、メンバーは使用しない）、包丁、網、手袋。 | | | | |
| 適用 | | 重いものを持つので、腰にくる。 対象面積；40a | | | | |
| 実施事業所名 | | サービスセンター八峰 すずらん工房 | | 作成日 12月18日 | | |
| 作成者 | | 田中 | | | | |

| | | | |
|--------|--|------------------------------|---------------------------|
| 作業名 | 梅の木の剪定作業 | | No. 3 6 |
| | 手 順 | | 支援者の業務・注意すべき点 |
| ① |  | 木と木が重なっている枝を見つける。片方の枝を切る。 | 枝に頭をぶつけないように気をつける。 |
| ② |  | ノコギリ（剪定ばさみ）を使用して、木の根元あたりを切る。 | 切る場所を確認する。手を切らないように気をつける。 |
| ③ |  | 作業終了 | |
| 作業時期 | 2月 | 難易度 | ☆☆ 10,000円/日 |
| 作業面積 | 500m ² | 障害区分 | 区分5 区分3 同行支援員数 1人 |
| 使用器具等 | ノコギリ 剪定ばさみ 軍手 | | |
| 適用 | | | |
| 実施事業所名 | みらいコンパニー | 作成日 | 平成30年 2月15日 |
| 作成者 | 八巻 | | |

| 作業名 | | 剪定した枝を拾って集める作業 | | No. 3 7 | |
|--------|---|----------------------------|--|---------------|---------|
| 手 順 | | | | 支援者の業務・注意すべき点 | |
| ① |  | 剪定した枝を見つける。 | 梅の木に頭をぶつけないように気をつける。 | | |
| ② |  | 木の下に落ちている枝を熊手で集める。集めた枝を拾う。 | 梅の木に頭をぶつけないように気をつける。熊手の使い方を説明し、集める場所を確認する。 | | |
| ③ |  | 拾った枝を一輪車で運ぶ。 | 梅の木に頭をぶつけないように気をつける。運ぶ量と運ぶ場所の確認をする。 | | |
| |  | 作業終了 | | | |
| 作業時期 | | 2月 | 難易度 | | ☆ |
| 作業面積 | | 500m ² | 障害区分 | | 区分5 区分3 |
| 使用器具等 | | 一輪車 熊手 軍手 | | | |
| 適用 | | | | | |
| 実施事業所名 | | | みらいコンパニー | | |
| 作成者 | | | 八巻 | | |
| | | | 作成日 平成30年 2月16日 | | |

| 作業名 | | 柿の畑の枝拾い 柿の木の伐採 | | No. 3 8 | |
|---------------------------|---|---------------------------------------|--|-----------------|--|
| 手 順 | | | | 支援者の業務・注意すべき点 | |
| ① |  | 柿の枝がどこにあるのかを確認する。 | 畑全体を歩いて確認する。場所を指で示し、理解を促す。運ぶ順番と担当場所を決める。 | | |
| ② |  | 枝を集め、トラックまで運ぶ。 | 枝が頭にぶつからないように気をつける。運んでいる途中で落ちてしまった枝を後で拾う。 | | |
| ③ |  | 柿の木に紐で目印をして、伐採する木がわかるようにする。チェーンソーで切る。 | チェーンソーの使用は危険なので、スタッフが行い、周囲にメンバーさんが来ないように注意を促す。 | | |
| ④ |  | 木を細かく切る。切った木をトラックまで運ぶ。 | 太い木は運ぶ際に足の上に落とさないように気をつける。 | | |
| ⑤ |  | トラックに枝を載せて、廃棄する場所まで運ぶ。 | トラックに載せる際に順番は大きさ等を示す。太い枝は後に載せる。 | | |
| 作業時期 3月 | | 難易度 ☆ ☆ | | 想定工賃 15,000 円/日 | |
| 作業面積 2 5 0 m ² | | 障害区分 | | 同行支援員数 3人 | |
| 使用器具等 | 軍手 ブルーシート チェーンソー トラック | | | | |
| 適用 | | | | | |
| 実施事業所名 みらいコンパニー | | | 作成日 平成30年 3月 14日 | | |
| 作成者 八巻 | | | | | |